

禁煙治療の概要説明資料

2006年4月から禁煙治療が保険適用されることになりました。これは喫煙を単なる習慣や嗜好と考えるのではなく、ニコチン依存症という病気としてとらえ、必要な治療を行うという考え方です。治療は一定の条件を満たした喫煙者なら、どなたでも受けることができます。

1. どんな治療をするの？

受診時期	治療内容
治療前の問診・診療	禁煙治療のための条件の確認
初回診療	①診察
再診1（2週間後）	②原則、呼気一酸化炭素濃度の測定
再診2（4週間後）	③禁煙実行、継続に向けてのアドバイス
再診3（8週間後）	④禁煙補助薬の処方
再診4（12週間後）	⑤禁煙治療用アプリ及びCOチェッカーの処方

2. 費用はいくらかかるの？

		ニコチンパッチの場合 ^{*6}		バレンクリンの場合 ^{*6}		バレンクリン+アプリ及びCOチェッカーの場合 ^{*6}	
		費用	自己負担額 (3割負担)	費用	自己負担額 (3割負担)	費用	自己負担額 (3割負担)
診療所	初診料+再診料 ^{*1}	7,780円		7,780円		7,780円	
	ニコチン依存症管理料 ^{*2}	9,620円		9,620円		9,620円	
	アプリ及びCOチェッカー指導管理料・材料加算	-	5,830円	-	6,040円	25,400円	13,660円
	院外処方箋料 ^{*3}	2,040円		2,720円		2,720円	
保険薬局	調剤基本料・調剤料 ^{*4}	2,910円		6,370円		6,370円	
	禁煙補助薬 ^{*5}	21,280円	7,260円	40,040円	13,920円	40,040円	13,920円
合計		43,630円	13,090円	66,530円	19,960円	91,930円	27,580円

*1 禁煙のみを目的に、診療所で治療を受けると仮定。再診料には外来管理加算を含むと仮定。

(注)他の疾患の治療にあわせて禁煙治療を受ける場合、初診料および再診料については重複して支払う必要はありません。

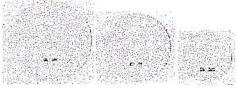
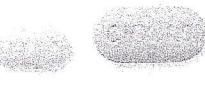
*2 5回の通院全てを対面で行うものと仮定。 *3 院外処方で、禁煙補助薬のみ処方されると仮定。

*4 調剤基本料1で算出。調剤料のほか、一般的な薬剤服用歴管理指導料を含むと仮定。

*5 禁煙補助薬を標準的な用法・用量で使用すると仮定 *6 上記費用は2020年11月に改定された診療/調剤報酬点数に基づいて算出。

3. 禁煙の薬や治療用アプリって何？

禁煙補助薬であるニコチンパッチ/ガムまたはバレンクリンが使えます。これらの薬は禁煙後の離脱症状をおさえ、禁煙を助けてくれます。バレンクリンは喫煙による満足感もおさえます。ニコチンパッチ/ガムを使うと禁煙の成功率が各々約1.7倍、1.4倍、バレンクリンを使うと約2.3倍高まります。治療用アプリ及びCOチェッカーを使うと、さらに約1.7倍高まります。

ニコチンパッチ*	ニコチンガム	バレンクリン	禁煙治療用アプリ及びCOチェッカー
			
<ul style="list-style-type: none">健康保険が使えます。ニコチンを皮膚から吸収させる貼り薬です。毎日1枚皮膚に貼り、離脱症状を抑制します。禁煙開始日から使用、8週間の使用期間を目安に貼り薬のサイズが大きいものから小さいものに切り替えて使用します。高用量の剤形は医療用のみです。	<ul style="list-style-type: none">薬局薬店で購入します。口の中の粘膜からニコチンを吸収させるガム製剤です。タバコを吸いたくなった時に、1回1個をゆっくり間をおきながらかみ、離脱症状を抑制します。禁煙開始日から使用し、12週間の使用期間を目安に使用個数を減らしていきます。	<ul style="list-style-type: none">健康保険が使えます。ニコチンを含まない飲み薬です。禁煙時の離脱症状だけでなく、喫煙による満足感も抑制します。禁煙を開始する1週間前から飲み始め、12週間服用します。	<ul style="list-style-type: none">健康保険が使えます。ご自身のスマートフォンにインストールして使用するアプリです。日常生活における禁煙を支援します。自宅で呼気一酸化炭素濃度を測定し、動機つけになります。24週間、使用します。

* 一般用医薬品にもニコチンパッチがありますが、ここでは医療用のニコチンパッチについて説明しています。